

神田外語大学 グローバル・リベラルアーツ学部の取組み 「グローバル・チャレンジ・ターム」 一般財団法人三菱みらい育成財団の 21世紀型 教養教育プログラムに採択決定

神田外語大学(千葉県美浜区/学長 宮内孝久)が2021年4月に新設したグローバル・リベラルアーツ学部(以降、GLA 学部)のカリキュラムの一つである「グローバル・チャレンジ・ターム」が三菱みらい育成財団の助成プログラム「21世紀型 教養教育プログラム」に6月28日付で採択されました。同プログラムは、私たちを取り巻く様々な環境が激しく変化する中で、現在・将来の課題解決に必要な基礎的素養と解決策を導き出すための世界観・価値軸を身に付けることを目的とします。同大の GLA 学部では、入学直後の6カ月間を「グローバル・チャレンジ・ターム」とし、学生一人ひとりが、今後本学で「何を学ぶのか」「自分は世界に対して何ができるのか」を考え、目指すべき道を見つけるための期間になります。第1ターム(4～5月)と第2ターム(6～8月)に分かれており、第1タームは基礎教養科目や海外スタディ・ツアーに向けた学習を通し、「考える」ための準備期間とします。第2タームは、リトアニア、インド、マレーシア・ボルネオ、エルサレムに赴く3週間の海外スタディ・ツアーを中心に、事前学習と事後学習を十分に行うことで、自分は世界に対して何ができるか、学ぶ目的を見つける期間とします。

神田外語大学の GLA 学部におけるカリキュラムの一つが採択された「21世紀型 教養教育プログラム」には、全国の国公私立大学から44件の申請があり、10件が採択されました。

本学は、開学以来「言葉は世界をつなぐ平和の礎」を建学の理念に、幅広くかつ能動的コミュニケーション力を備えた真の国際人を育成すべく、実践的な語学教育とともに、教養教育や異文化理解を重視した教育を行ってきました。この考えから、2021年4月には GLA 学部を開設しました。

同学部のグローバル・チャレンジ・タームにおけるメインテーマは「自分は世界に対して何ができるか。学ぶ目的を見つけるための6カ月」です。このテーマについて考え、大学4年間で目指すべき道を見つけるための期間とします。その大きな柱が、全学生が必修の海外スタディ・ツアーであり、世界に飛び込み、世界の現実を感じ、大きな衝撃を受けることで、それが気づきとなり、自分が進むべき道を見つけます。この度の採択によって、高度な語学運用能力に加え、幅広い教養(リベラルアーツ)を身に付けられる教育環境の構築を一層進めていきます。以下、概要となります。

三菱みらい育成財団「21世紀型 教養教育プログラム」概要

【助成対象者】大学等や教育事業者

【教育プログラム参加者】大学1・2年生相当(18歳～20歳の年齢層)

【助成期間】取組みの定着を目的に原則3か年まで継続助成します(成果報告の内容次第では、継続助成しない場合もある)

【金額】100～800万円程度(2021年度予定)

【選考プロセス】応募書類提出後、選考委員による書類選考及び面接選考

【選考の視点】

1. プログラム内容の特徴(趣旨との合致)
 - ・モデルとなる21世紀型教育プログラムであるか、プログラムイメージに合致しているか
2. プログラム目標と達成可能性
 - ・3年後をめどに「プログラムの実施」の要件に合致するプログラムの運用が可能であるか
 - ・3年後に、他団体への波及・展開が期待できるモデルとなりうるか
 - ・プログラム達成目標として「何を指すか」が明確であり、その成果の自己評価及び報告が組み込まれているか
 - ・優良な成果を上げるため専門的な知見を有する者の協力・実施体制(領域横断的・組織横断的な体制)等が確保されているか
3. プログラムの独自性・先進性・卓越性
 - ・試行やパイロットの場合を除き、既存プログラムでは実施していない、斬新性、先進性、独自性のあるプログラムであるか
 - ・当該大学、団体ならではの課題や特色、着眼点を反映したプログラムとなっているか。また、プログラムの卓越性もあるか
4. プログラム予算・経費計画の適正性
 - ・経費計画が適正であるか

5. プログラムの社会的インパクト・定着・継続性

- ・今後、日本社会や教育界に対して革新的なインパクトをもたらすことが期待できる取組となっているか
- ・助成対象のプログラムや取組の成果を、助成期間終了後も継続的に波及させるための工夫が盛り込まれているか

「グローバル・チャレンジ・ターム」概要

【期 間】

◆第1ターム「基礎と導入」(1年次 4月～5月)

グローバル・リベラルアーツ学部の学びを進めるための導入期間となります。教養の基礎と海外スタディ・ツアーのための準備など、「考える」ための期間として設定しています。「グローバル・リベラルアーツ入門」等の科目から、教養とは何かを学びます。

◆第2ターム「事前学習／海外スタディ・ツアー／事後学習」(1年次 6月～8月)

第2タームで柱となるのは約3週間の海外スタディ・ツアー。興味のあるテーマで留学先を選択し、世界の現実を感じ、自分の進むべき道を見つけるための期間となります。海外スタディ・ツアーの前後には、グローバル・ディスカバリー I・II という科目が設定されています。I では徹底的な4つの国や都市の文化・歴史の事前学習、II では同学部の重要な取組みである「リフレクション」をフィールドワーク、グループワーク、ディスカッションを中心に実施し、学生自身が能動的かつ、主体的に取り組むプログラムとなっています。

【重点施策：海外スタディ・ツアー】

プログラムの柱である海外スタディ・ツアーの留学先はリトアニア、インド、マレーシア・ボルネオ、エルサレム。約3週間海外に飛び込み、貧困と格差、戦争と平和、宗教と民族といったテーマをもとに、現地で暮らす人々とふれあい、話し合い、考える留学です。さまざまなバックグラウンドをもつ人々との交流を通して、多様な価値観を感じ、実践を通して世の中で起きていることを知り、自分が進むべき道を見つける機会になります。

※2021年度は、海外スタディ・ツアーをオンラインとリアルを組み合わせたプログラム「海外スタディ・ツアー2.0」で実施。

感染症の影響が落ち着き、渡航が可能になった時点で、現地への短期のスタディ・ツアーを実施することも検討しています。

<リトアニア> 提携大学：ヴィータウタス・マグナス大学

「人道」をテーマに、深く学ぶとともに「20世紀以降の中東欧史」や「紛争と対立からの脱却」などに関して深く学修します。

<インド> 提携大学：シンバイオシス国際大学

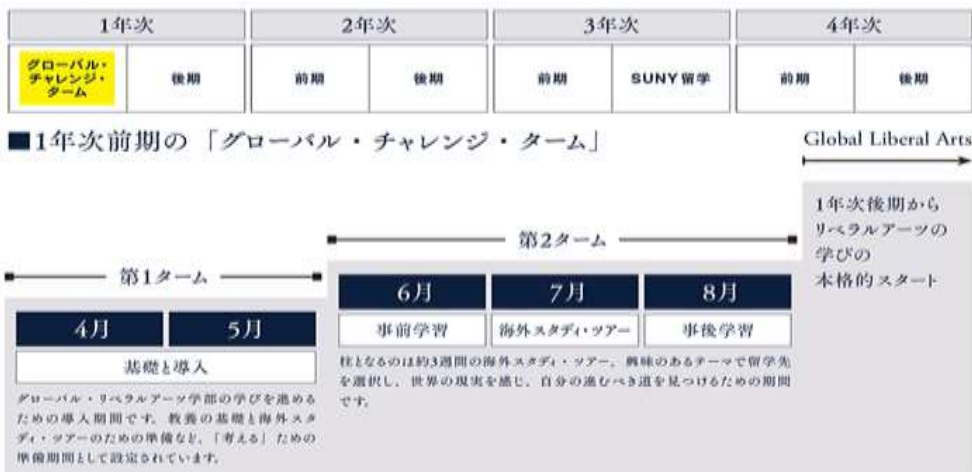
「多文化共生」をテーマに、多様性や教育格差、貧困と格差等について深く学修します。

<マレーシア・ボルネオ> 提携大学：スウィンバーン工科大学サラワク校

SDGs のテーマである「サステナビリティ」をテーマに、開発と自然について深く学修します。

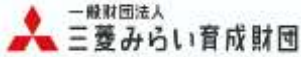
<エルサレム> 提携大学：ヘブライ大学

「宗教」をテーマに宗教の多様性やイスラエル・パレスチナの歴史について深く学修します。



▲「グローバル・チャレンジ・ターム」の概要

【参考】



<https://www.mmfe.or.jp/> (三菱みらい育成財団サイト)

カテゴリー4 大学・NPO 等で行う、「21 世紀型 教養教育プログラム」

<https://www.mmfe.or.jp/application4/>

グローバル・チャレンジ・ターム(神田外語大学サイト)

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/faculties/gla/gct/>

※本学から配信されるプレスリリースは SDGs に基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

▼本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園(神田外語グループ) グループコミュニケーション部 担当:室井優太郎

TEL: 03-3258-5837(平日 9:30~17:00) FAX:03-5298-4123 E-mail: media@kandagaigo.ac.jp